

2005年度 生理学研究所 研究会  
「分子複合体と神経・シナプス機能」

日時:2005年6月23日(木)~24日(金)

会場:自然科学研究機構生理学研究所 コンファレンスセンター

提案代表者: 森 泰生 (京都大学大学院工学研究科)

所内対応者: 井本 敬二 (神経シグナル研究部門: 0564-59-5886; keiji@nips.ac.jp)

プログラム

6月23日(木)12:30~18:10

12:30-13:10 飯田 純子 (東京医科歯科大学)

足場蛋白S-SCAMによるシナプス分子複合体の形成

13:10-13:50 奥野 浩行 (東京大学大学院医学系研究科)

神経活動依存シナプス蛋白 Arc と PSD 蛋白間の相互作用の解析

13:50-14:30 福田 光則 (理化学研究所)

調節性分泌におけるシナプトタグミンファミリーの機能と多様性

14:30-15:00 コーヒーブレイク

15:00-15:40 藤吉 好則 (京都大学理学研究科)

水とイオンチャネルの構造と機能

15:40-16:20 佐藤 主税 (産業技術総合研究所)

電顕画像の単粒子解析法の開発とイオンチャネルの構造

16:20-16:50 コーヒーブレイク

16:50-17:30 夏目 徹 (産業技術総合研究所)

タンパク質相互作用ネットワークの大規模解析

17:30-18:10 富田 泰輔 (東京大学大学院薬学研究科)

膜蛋白複合体プロテアーゼ $\gamma$ セクレターゼの解析

18:30~ 懇親会

6月24日(金)9:00~11:40

9:00-9:40 立山 充博, 久保 義弘 (生理学研究所)

代謝型グルタミン酸受容体の機能制御機構と動的構造変化

9:40-10:20 鳴島 円 (金沢大学医学研究科)

内因性カンナビノイドによる線条体シナプス伝達の調節

10:20-11:00 山崎 美和子 (金沢大学医学研究科)

シナプス前 Gi/o 共役型受容体を介する微小シナプス電流の調節

11:00-11:40 森 泰生 (京都大学工学研究科)

電位依存性 Ca<sup>2+</sup>チャネルβサブユニットの新たな生理機能